

愛知県議会議員

桜井ひでき

現場の声を
県政に!

県政レポート

2023年10月
発行: 桜井ひでき事務所

vol. 19



message

環境変化に負けず
政策を前に進めます!政策推進議連にて中高一貫校の
海陽学園を視察!

今年の夏は、異常ともいえる猛暑に見舞われながらも、経済社会活動も正常化が進み、景気が回復していくことが期待される一方、ロシアのウクライナ侵攻の長期化、エネルギー価格・物価の高騰により、県民の生活や中小・零細企業の負担感は高止まりしたままとなっています。また、経済や産業の構造変革が急激に進む中、様々な産業では人材不足、人材確保が大きな課題となっています。

こうした中、引き続き物価高騰対策をはじめ人材育成・確保など人への投資が求められ、だれ一人取り残さない社会の実現をしていくことを目指していきます。

TOPICS
1大村知事に令和6年度の
施策及び当初予算を提言!

今回の要望にあたり、最大の支援母体である連合愛知の組合員の声や日頃より連携している各自治体議員との積極的な意見交換に加え、政策推進議員連盟の活動を通して、関係団体などから幅広く意見を伺い、要望内容に県民・地域の声を反映させてきました。



主な提言内容

1. ポストコロナ・経済政策

- ・ 中小企業・小規模事業者に対する継続的な伴走支援の推進
- ・ 外国人観光客の県内観光消費喚起に向けた取組の推進 等

2. 雇用・労働・環境政策

- ・ 男女共同参画社会の実現
- ・ 地球温暖化防止の取組推進及び環境・エネルギー分野の産業振興 等

3. 医療・福祉・教育政策

- ・ 少子化対策の推進
- ・ 良好な教育環境の整備と教員の働き方改革の推進 等

4. 安全安心・暮らし政策

- ・ 大規模自然災害に備えた社会資本整備の推進
- ・ 交通事故防止対策の推進 等

5. 地域・行政改革政策

- ・ あいちDX 推進プラン2025 とICT 利活用の推進
- ・ 生産性の高い農業を実践するための農業イノベーションの推進 等

桜井の
意見!

令和5年度は、会派の政策調査会長として全体の取りまとめ、今後は予算に反映できるよう取り組んでいきます!

代表質問

9月定例議会が9月27日(水)～10月19日(木)までの会期で開催され、自由民主党・あいち民主の2会派が代表質問を行い、あいち民主県議団からは、幹事長である天野正基議員(小牧市選出:5期)が登壇し、県政諸課題について県の考えを質しました。



主な議案

令和5年9月定例議会が、9月27日(水)から10月19日(木)までの会期で開かれ、総額158億余円の一般会計補正予算案をはじめ、条例の一部改正、人事案件など15の議案を集中的に審議し、可決成立させました。また、「地方財政の充実・強化について」、「ギャンブル等依存症対策の強化について」含め5件の意見書を国に提出するとともに、昨年度の決算を審議する2つの特別委員会が設置され、今後、集中的に審議がなされます。

6月2日の大雨で被災した農業者を支援します

6月2日の大雨で被災した農業者の営農継続を支援するため、農業用機械又は農業施設の修繕等に必要な経費や農業資材(種苗、肥料、農薬等)の購入に必要な経費の一部を補助します。

被災農業者営農費補助金

対象事業	農業用機械の修繕費等への支援	農業資材の購入費への支援
対象者	6月2日の大雨で被災した農業者 要件:農機具共済や収入保険等に加入済であること又は加入すること	
対象経費	農業用機械又は農業施設の修繕費、再取得費、撤去費、農業施設の修繕に必要な資材購入費(附帯設備や附帯施設を含む)	農業資材(種苗、肥料、農薬等)の購入費
補助率	1/4以内	定額(1/4相当)
スキーム	申請 市町村 農業者 ↔ 県 交付	

※両支援ともに市町村において県費同額以上の補助が条件

技能全国大会・全国アビリンピックの3年連続開催に向けた取組を進めます

技能五輪全国大会・全国アビリンピックの大会史上初となる3年連続愛知県開催に向けて、来場促進のための取組を行うとともに、愛知県選手の育成支援を行います。訓練費用の支援を行います。

●技能五輪全国大会・全国アビリンピックの開催準備

2024・2025年度、技能五輪全国大会・全国アビリンピックを主催者として開催するため、大会の周知・広報に取り組み、来場促進を図ります。

●選手育成への支援

2024・2025年度大会の出場を目指す選手を育成する中小企業、学校等に対する訓練費用の支援を行います。



愛知の「休み方改革」を全国に発信し、日本全体の観光需要平準化を促します

全国に影響力を持つ観光業界のオピニオンリーダー等と連携し、愛知県「休み方改革」プロジェクトの取組を広く発信することで、県外にも「休み方改革」を通じた観光需要の平準化を促していきます。

●知事と観光業界オピニオンリーダー等との対談の実施及び雑誌への掲載

対談ゲスト：観光業界の企業経営者等

対談テーマ：「休み方改革」を通じた観光需要平準化

掲載媒体：旅行・経済雑誌

●「愛知特集」の制作

対談記事に、愛知県「休み方改革」イニシアチブ賛同企業・団体の取組事例、あいちスキ旅キャンペーン参画施設の情報などを加えた特集記事を制作し、旅行・経済雑誌に掲載。

●啓発用冊子の作成・配布

特集記事の抜き刷りを活用した冊子を作成し、都道府県や全国の観光関連団体等に配布。

交通死亡事故抑止に向けて、交通安全対策を推進します

本県の厳しい交通事故情勢を踏まえ、交通事故多発交差点において、ドライバーや自転車利用者、歩行者の視認性を高め、交通事故抑止効果の高い信号灯器のLED化等の交通安全施設を緊急に整備し、交通安全対策を一層推進します。

- 信号灯器のLED化 460灯
- 道路標識の更新 510本
- 道路標示の更新 55.4km

*三河地区で約3割に設置予定です。



Stop Slow Smart
3つのSで交通事故抑止！



道路標識、道路標示の整備



信号灯器のLED化

質問1 今後の財政運営について

Q 今後の財政運営にあたり、県債残高の維持・抑制にどのように取り組んでいくのか伺う。

大村知事 答弁

今年度末の県債残高は、依然として5兆円を超える規模となる見込みであるものの、前年度に比べ551億円の減となる見込みであり、着実に減少している。県債残高の半分以上は、地方交付税の振替措置である臨時財政対策債をはじめとした特例的な県債が占めている。臨時財政対策債については、本来は、地方交付税の原資となる国税の法定率の引上げ等により廃止・縮減を行うべきであり、総務大臣に対して直接要請をしている。また、県債残高のうち、投資的経費に充てる通常の県債の実質的な残高は、今年度末で2兆5億円となる見込みであり、「あいち行革プラン2020後半期の取組」の数値目標である2019年度末決算における残高2兆567億円を超えない水準を堅持している。

今後必要な公共投資は、交付税措置のある有利な県債などを活用しながら積極的に対応する一方、着実に償還を進め、残高の水準を維持、抑制するよう努めていく。



代表質問する
天野正基議員

質問2 カーボンニュートラルあいちの実現について

Q EVの充電設備の設置促進について電気自動車の充電インフラの設置を促進するため、どのように取り組まれてきたのか、また、今後どのように取り組んでいかれるのか伺う。

大村知事 答弁

ゼロエミッション自動車の普及台数が全国一となっている本県では、これまで、独自の自動車税課税免除や購入時の補助などの車両導入支援と合わせて、普及の前提となる充電インフラの整備促進にも取り組んできた。2022年3月末現在では、公共施設や商業施設など一般に開放された公共用の充電設備は、1,138か所と全国有数の規模となっている。一方で、今後の本格的なEVの普及拡大を見据えると、公共用充電設備の設置増加と合わせて、高出力で複数の充電口を持つ充電設備の設置により利便性の向上を図るとともに、整備・運用面で課題の多い集合住宅への設置を促進するなど、充電環境の更なる充実を図っていかねばならないと考えている。現在、国においても、充電インフラを大幅に拡充する方針のもと、今後の整備指針の策定が進められている。こうした国の動向を注視しながら、事業者向けガイドラインの見直しや、集合住宅等への働きかけの強化に取り組むなど、充電インフラ整備を更に促すことで、ゼロエミッション自動車の普及を加速させ、「カーボンニュートラルあいち」の実現を目指していく。

質問3 誰もが活躍できる社会の実現について

Q 不登校対策について「校内フリースクール」の設置については、現在の不登校の状況や、今年度のモデル事業の成果を踏まえ、今後どのように進めていかれるのか伺う。

飯田教育長 答弁

不登校の数は、近年、特に中学校で急増しており、担任や支援員が配置され、学びの環境が整った「校内フリースクール」の設置を促進することは、子供の学びの場を確保するために、大変重要であると認識。そこで、今年度から尾張旭市立旭中学校と幸田町立北部中学校の2校に「校内フリースクール」を設置し、その効果を検証するモデル事業を開始。この2校では、あわせて19人の生徒が「校内フリースクール」を利用しており、担任と支援員を配置して生徒の指導や支援にあたっている。新たな居場所ができたことによって、教室に居づらい生徒が安心感を持って自分のペースで学習に取り組んだり、長期間自宅から出ることができなかった生徒が登校できるようになったりと、効果が出てきていることを学校からは聞いている。

今後は、「校内フリースクール」の効果を県内の市町村に向けて発信し、全ての公立中学校において、不登校の子供たちの学びの場が確保できるよう取り組んでいく。



答弁する飯田教育長

6月議会に引き続き、農林水産委員会で「林業従事者の人材育成」について質問!



今議会で上程されている「あいち森と緑づくり条例の一部改正」で2009年度から森林整備にかかる財源の確保策として制定され、500円/人/年徴収することを5年間延長するものでこれまでの人材育成に関する取組を確認しました。

質問1

あいち森と緑づくり事業での人材育成に関する成果について伺う。

答弁

あいち森と緑づくり事業による間伐は、道路沿いなど高度な技術を必要とする区域での作業が多いことから、安全かつ円滑に工事を進めるため、クレーンや高所作業車などの操作資格を取得する技能講習、クレーン車などを使用した道路沿いの間伐や、木の上で安全に伐採作業を行うための技術を身に付ける実技研修を行った。

質問2

愛知県として若い林業従事者の確保策についての考えを伺う。

答弁

本県では、人材の確保のため、森林・林業に関心を持っていただくとともに、職業としての林業を理解していただくための取組を実施している。県内の林業のPRや、就業希望者と林業経営体とのマッチングを行い、昨年度までの5年間で、19の方が県内の林業経営体に就職された。また、県内にある林業関係の3つの県立高校に対しては、林業現場での高性能林業機械の操作体験や、各高校と林業関係者による就業懇談会を通じて、積極的に林業の魅力を伝え、林業の就業を働きかけており、5年間で17人が林業経営体に就職された。

日々の活動

8/10(木)

ユタカクラブ議員協議会視察

中部電力碧南火力発電所が行うアンモニア混焼による二酸化炭素軽減を視察



8/26(土)

トヨタ自動車労働組合研修にて県政報告

ジブリパーク第2期2エリアの開園や2026年アジア競技大会など県の取組を報告



9/9(土)

トヨタ自動車独身寮 寮祭

4年ぶりの寮生会主催による寮祭にご招待いただき、若いエネルギーをいただきました。



9/20(水)

自治労愛知県本部医療現場の要望に立会

愛知県に対して医療現場の課題解決に向けた要望に会派を代表して立会いました。



9/17(日) 24(日)

稲沢・小牧市議会議員選挙

働く仲間の同志の選挙に応援に行きました。



9/28(木)

大村ひであき知事西三河県政懇談会に出席

あいち民主県議団を代表して知事のこれまでの取組を紹介させていただきました。



発行：桜井ひでき事務所

〒471-0832 豊田市丸山町10-5-1
TEL 0565-71-1555 FAX 0565-29-0274

ホームページを是非ご覧ください
<https://sakurai-hideki.com/>



Instagramを始めました!



Instagram

